

ここ、現銀工組合長阪本孝三郎君への投票が競かへども、附屬の「時」は相もろて眞實を語つて笑る。労働者は目醒めて来る。斯くて十五名の協議員代表は全部機械労働組合員のものである事が明かになつた。

## 公開文

(大阪機械労働組合発表)

萬天下の労働者諸君に告ぐ

吾大阪機械労働組合員は未來永久利害相一致する無產階級の解放を目的とする兄弟同志が殊に組合同志が相争ふ事を好まない者である。乍然好んで平地に波亂を起し仲間内を小氣で罵倒し侮辱して憚らず強て戦を挑むる者あらば、吾人は不本意ながら労働運動來の爲に膺懲すべく應戰する事を辭せざるものである。

過日新聞紙上に汽車會社に工場委員制度が實施せらるゝ事になった同社には勢力相伯仲せる鐵工組合三機械労働組合三があるから委員選舉には定めて激烈な競争を演ずるであらうと書立てた焉んぞ知らん同社は鐵工組合の發生地であるが、今は同組合墮落の結果僅々六七十名に減少しこれが鐵工組合は公認候補を出してしま慘敗するは明らかである寧ろ此際赤恥を晒すより彼等一流の世間を憚り、自からを偽るに如むすんでして、

八月廿九日公認候補は出さない云ふ聲明を發表した。ソレダケなら多少血の通つて居る奴もあるワニミ譲めてやる處だが氣でも狂つたのか聲明文の中には事實無根の事を庭面もなく羅列し、機械労働組合を讒謗中傷して居つたのだ。此の聲明文を見た我が組合員は其の非常識を嘲笑ひ且つ怒り、三十日朝幹部を派して鐵工組合最高幹部に左の詰問を發し即答を迫つた。

一、如何なる理由事實を以て機械労働組合を火事泥的に發生した組合云ふのか

一、機械労働組合が工場委員制度實施に努力した功績は衆の知る處なり、然るに今機械労働組合が反対したは何を以て爾云ふか其の事實を立證すべし

一、俺達は労働ブローカーの走狗になる事を欲しない、謂ふ所の労働ブローカーとは何か

三、然るに彼等は只一つとして答辯が出来ない終に窮つて至急幹部會を開き辯明致しますこの事に猶豫すべきにあらざるも一應許してやつた所、ヤ、暫くして今日は幹部の多數が缺勤して居るから九月一日朝迄待つて呉れ云つて來た。既に聲明を公表しながら其の辯明の跡を知らざるが如き彼等の愚に至つては二の句がつけない。

九月一日待てとも待てとも回答に接せず、再び再四督促の結果午後二時半に至り、鐵工組合代表者二名より回答する旨返事ありたるにより、二名の代表は鐵工組合の全責任を以て回答交渉をなすや否や、萬一組合長に或は幹部に又組合員に一々相談せねば確答の出來ない様な代表者なれ